日時：　２００７年1月１１日（木）　午後７時ー午後９時
場所：　日本クラブ

今回、初めて参加をした方の自己紹介：
こしがわけいこさん：　日系会社勤務。
滝本あやこさん：　ピラテスのインストラクターの勉強中。２００７年７月取得予定。

講師：　ピーター・バインシュタイン氏
Cambridge 大学卒。大学卒業後、弁護士事務所に勤務後、現在のビジネス PS English（この名前は、自分の名前 Peter Simon (middle name)から来た。）をスタート。

自分のビジネスをはじめる前、どのようなビジネスをはじめるか特にアイディアはなかった。当時、ドットコム・バブルだったが、コンピューターが得意なわけでもない。よって、パートタイムの仕事をはじめた。仕事の１つに英語スクールの仕事があった。
英語スクールの仕事をしていくうち、日本人・日本に興味を持つようになり、今にいたる。

文化の違い
（1）　話さないことによる美徳。
（2）　カスタマーサービス（イギリスでは、顧客がクレームをしないということは、顧客は満足していると推測するが、日本の場合はそうではない。満足していなければ、何もいわずに去っていく。）
（3）　食べ物の習慣、フットボールなど。
（4）　英国に住んでいて、どのように現地の友人をつくるか。
（5）　公共機関。
（6）　日常で使う言語や会話。

日本人が英語を話すとき
（1）　間違えを恐れて話をしない。
（2）　文法、発音などを気にする。
文法や発音の間違えは、ネイティブではないので間違えないということを期待されていないし、聞く人はそんなに気にしていない。
日本人は、学校時代から英語を学んでいるが、学び方に問題があると思う。文法中心の学習スタイルで、間違えるのを恥じる、間違えを恐れて話さないということがおこる。
また、英検、TOEFL などの試験でも、話すことは期待されておらず、文法中心。

しかし、実際考えてみると、イギリス人でも、地方の英語がわからないこともある。

●いっしょに考えてみましょう。(ハンドアウトの４ページ)
次の英語のセンテンスはどのように奇妙でしょうか？
通常、英語ではどのように表現されるでしょうか？